

K O S H I N

W A R A K U

故新和樂

夏の奏

2025 7/26 (土)

渡辺淳一文学館

(地下鉄南北線中島公園駅徒歩8分)



望月左喜佳
邦楽/長唄囃子
囃子方



こうの 紫
細棹三味線



西崎 鼓美
日本舞踊



守屋 亜樹
ピアノ



津野田智代
箏



鳳聲 小晴
邦楽/長唄囃子
笛方

開演 12:00 (開場 11:30)

第1部 [一般] 2,500円
[18歳未満] 1,000円
[親子] 3,000円

開演 15:00 (開場 14:30)

第2部 [一般] 3,500円
[18歳未満] 2,500円
[一部、二部とも当日はプラス500円]

*乳幼児のお子様からご入場いただけます。膝上の方は無料です。

演目 夏の曲メドレー／語り舞「三枚のお札」
ベートーヴェン作曲ピアノソナタ第8番「悲愴」第二楽章
齋藤桃子作曲「火の鳥」／一調一管「鳥の千歳」他

札幌発のジャンルを超えた 新しい音楽舞踊集団

古から伝わる伝統的な和楽器、日舞に「洋楽」と「現代」との要素を融合をさせました。「故新和楽」が繰り広げるクリエイティブなひと時をお愉しみいただけたら幸いです。

「語り舞とは」飛び出す絵本のように、物語のストーリーを日本舞踊の所作で表現します。言葉に、和洋楽器の音楽を融合させることで、物語をより深め、広げてゆきます。和楽器の音色は言葉にならない心情や情景の世界を彩り、洋楽器の響きがストーリーを後押しします。身体表現と音楽が絡み合うとそこには、幻想的な音楽と舞踊の調和が生まれます。

子供の頃に親しんだ昔話を、大人になって再び手にすると、物語の奥深さが新たな輝きを放ち幼い頃には気づかなかった不安や恐れ、そして勇気に満ちたエピソードが、さまざまな体験経験と重ね合わせて、心に染みわたることでしょう。懐かしい心の扉を開いたり、夢見るように幻想的な旅へご招待できましたら嬉しい限りです。

西崎 鼓美

(日本昔話)
さんまの
おふだ



渡辺淳一文学館

札幌市中央区南12条西6丁目414
地下鉄南北線「中島公園駅」
3番出口より徒歩8分
市電「中島公園通駅」徒歩3分

